

日 時	令和6年2月5日(月) 13:15~15:00
学 校 名	小山市立桑中学校
対 象	1年生 136名
講 師	酒井 誠 氏 (株式会社酒井建築設計事務所 代表取締役社長) 名村 史絵 氏 (三信電工株式会社 代表取締役) 林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長)
内 容	<p>今回は新しい試みとして、3人の講師が同じ質問にそれぞれの視点で答える、パネルディスカッション形式で講演を行った。事前に生徒から募ったアンケートをまとめた上位5位の質問と、代表生徒の考えた質問7つにそれぞれ回答した。</p> <p>(1) この職業を選んだ理由と、この職業に就くことを決めた時期 (2) 働くことの意義・喜び・厳しさについて (3) 社員の1日の仕事の流れについて (4) この職業に就くために必要なこと、資格など (5) 中学生へのアドバイス (6) 休日の過ごし方 (7) 「好きなことができる仕事」か、「自分の得意なことを生かせる仕事」のどちらに就いた方がいいか</p> <p>特に(7)の質問では、それぞれの個性が出ていて興味深い答えとなった。</p> <p>酒井氏は、得意なものは才能ということになるので、意識しなければあまり努力をしない。好きなものは自然と努力できるもの。大変な思いをして手に入れたものだから、その方がより大切にすると答えた。</p> <p>名村氏は、自分は好きでも得意でもないものを仕事として選んだが、やってみたら楽しさが分かったり、自分に向いていると感じたりした。だから、好き嫌いや得意不得意にこだわらず、色々な事に挑戦してほしい、と答えた。</p> <p>林氏は、好きなものについてたくさん勉強したり練習したりして、得意にするのが一番いい。だから、今自分が好きなものを、突き詰めるといいよ。と答えていた。</p> <p>仕事について、様々な視点から考えることができ、生徒たちにとって将来について考える良いきっかけになったと思う。</p>



